

もっと安心農産物(エコ認証) 冬どり キャベツ 栽培暦(令和3年度)

JAちばみどり 飯岡野菜部会

1. 土づくり

輪作体系にマリーゴールド・エン麦・ハブエースを作付けする。

☆施肥量は施肥できる上限施肥量とする。(上限施肥量を超えての施肥はできない)

☆追肥は、量を分けて施肥できる(例: 上限60kg/10aの場合40kgと20kgの2回にわけて施肥可能)

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

(化学肥料窒素成分使用量14kgまで)

下記 1~4 いずれかのプランを選択する

基肥	肥料名		10aあたりの施肥量
	基肥 1	基肥	マイルドユーキ030号(10-13-10)有機態窒素 5.3
	追肥	マイルドユーキ030号(10-13-10)有機態窒素 5.3	120kg/10a以下
基肥 2	基肥	NKマイルド028号(10-2-8)有機態窒素5.3 ※燐酸過剰圃場用	100kg/10a以下
	追肥	NKマイルド028号(10-2-8)有機態窒素5.3 ※燐酸過剰圃場用	160kg/10a以下
基肥 3	基肥	有機ブリケット味好1号(6-8-4)有機態窒素 6	120kg/10a以下
	追肥	追肥専用化成S842(18-4-12)	60kg/10a以下
基肥 4	基肥	エコレット866(8-6-6)有機態窒素4.1	200kg/10a以下
	追肥	エコレット866(8-6-6)有機態窒素4.1	150kg/10a以下
窒素成分に カウントしない肥料	苦土石灰		土壌分析により 施肥量を加減する
	苦土重焼燐		
	けい酸加里		
	マルチサポート1号		

3. 防除

☆農薬使用成分回数は、8成分回数までに抑える。

☆苗購入の場合、農薬使用成分回数は、6成分回数までに抑える。

☆防除暦の下部に記載されている変更可能な農薬と防除農薬は選択可能とする。 ☆化学合成農薬に含まれない農薬は、成分回数カウントしないが、農薬登録は厳守する。

月	旬	作業	病害虫発生時期	薬剤名	濃度・使用量	対象病害虫	使用時期	備考(耕種的防除実施等)	
7	下旬		ネキリムシ	①D-D	15~20g/10a	ネコフセンチュウ、ネグサレセンチュウ	作付10~15日前		
8	上旬			コナガ	②フロンサイド粉剤	40kg/10a	菌核病、苗立枯病	全面土壌混和	害虫の発生量を減らすため圃場 周辺の除草をする。 育苗床は害虫防除のため寒冷紗 でトンネル被覆をする。
	中旬	播種				15~20kg/10a	根こぶ病	作条土壌混和	
	下旬					30~40kg/10a	根こぶ病	全面土壌混和	
9	上旬	定植		ヨトウムシ	③アプレソフロアブル5	500倍	コナガ、アオムシ、ウワバ類、ハイマダ ラノメイガ、ハスモンヨトウ	育苗期後半~定植当日	根こぶ病発生圃場は早植を避け る 作用機作の異なる薬剤をローテーシ ョンで使用する
	中旬					苗床灌水処理			
	下旬								
10	上旬	追肥 土寄せ		黒腐病・べと病・黒斑細菌病	④フォース粒剤	4kg/10a	ネキリムシ類	定植時	フェロモントラップの発生量を観察 して防除を実施
	中旬	結球初期							
	下旬								
11	上旬	収穫 ↓		菌核病	⑤ハチハチ乳剤	1000~2000倍	アオムシ、アブラムシ類、コナガ、ハイマ ダラノメイガ	収穫14日前	土寄せ後、黒腐病の防除を実施 する
	中旬					1000倍	アザミウマ類		
	下旬								
12	上旬		ヨトウムシ	⑥プレオフロアブル	1000倍	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、ヨトウム シ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ	収穫7日前	均一に散布して土壌と混和	
	中旬				1000倍	黒腐病、軟腐病、黒斑細菌病	収穫7日前		
					3000~4000倍 3000倍	アブラムシ類 ネギアザミウマ	収穫前日		
				☆変更可能な農薬 ※上記農薬と変更可能					
				※	バスアミド微粒剤	20~30kg/10a	萎黄病、株腐病、苗立枯病、根こぶ病	播種又は定植21日前	均一に散布して土壌と混和
					オリゼート粒剤	6~9kg/10a	黒腐病	定植時	全面土壌混和又は作条土壌混和
					ダコニール1000	1000倍	べと病、根朽病	収穫14日前	
					キノドーフロアブル	800~1000倍	黒腐病	収穫14日前	
					モベントフロアブル	2000倍	アザミウマ類、コナガ	収穫7日前	
						2000~4000倍	アブラムシ類		
					ファインセーフフロアブル	1000~2000倍	アオムシ(1000倍)、アザミウマ類、コナガ	収穫3日前	
					カセット水和剤	1000倍	黒腐病、黒斑細菌病、軟腐病	収穫7日前	3回以内 ※2成分カウント
					アグリマイシン-100	2000倍	黒腐病、黒斑細菌病	収穫14日前	2回以内 ※2成分カウント
					ナレート水和剤	800倍	黒腐病、軟腐病	収穫14日前	3回以内 ※2成分カウント
					ロブラール水和剤	1000倍	菌核病、株腐病	収穫7日前	
					ランマンフロアブル	2000倍	べと病	収穫3日前	
					グレーシア乳剤	2000~3000倍	アオムシ、アザミウマ類、ウワバ類、オオタバコガ、コ ナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫7日前	
					レーバフロアブル	2000倍	べと病	収穫7日前	
					アフエットフロアブル	2000倍	菌核病、株腐病、根朽病	収穫前日	
					トランスフォームフロアブル	2000倍	アブラムシ類、ネギアザミウマ	収穫前日	3回以内
					ディアナSC	2500~5000倍	アオムシ、アザミウマ類、ウワバ類、オオタバコガ、コ ナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日	
					トルネードエースDF	2000倍	アオムシ、コナガ、タマキキウワバ、ハイマダラノメイガ、 ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫7日前	
					フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	アオムシ、ウワバ類、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラ ノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日	
					アドマイヤーフロアブル	4000倍	アブラムシ類	収穫7日前	
					ウララDF	2000~3000倍	アブラムシ類	収穫前日	
				☆化学合成農薬に含めない農薬					
					スピノエース顆粒水和剤	2500~5000倍	アオムシ、コナガ、タマキキウワバ、ヨトウム シ	収穫3日前	3回以内
						5000倍	アザミウマ類、ハイマダラノメイガ		
					ポリオキシンAL水溶剤	1500倍	菌核病	収穫14日前	3回以内
					ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、シロイチモシヨトウ、ハ スモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日	発生初期
					コサイド3000	2000倍	褐斑細菌病、黒腐病、軟腐病、斑点細 菌病	—	予防(汚れ軽減)
					Zボルドー	500倍	褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌 病、軟腐病、斑点細菌病、べと病	—	

※令和3年4月1日 追加